

おじいさんの古時計について—追補—

2002年にまとめた「おじいさんの古時計について」について誤植やら何やら遅まきながら気付いたことがあるので、後のために書き残す。

★ミミー宮島バージョン歌詞の異同

「今見ると歌詞に若干の異同が認められる。下記は昭和15年に歌われた原詩であり、<>内は中村バージョンでの異同である。」とあるが、昭和15年に歌われた原詩はレコード（YouTubeに基づく）では「背中」の読みが異なる。

ミミー宮島は、はっきり「せー」と歌っている。文字通り「せなか」のことだが「背が曲がる」を関西弁はいざ知らず、共通語で「せーがまがる」というのかどうか、筆者は寡聞にして知らない。しかし「*e - i (*は子音)」と書いて「*e :」と読む・・カナ書きすると「エイ」と書いて「エー」と読むのは日本語の常識（いや逆だ。「エー」という言葉が先にあってそれを「エイ」と書くことにしたのだ）とすれば、ミミー宮島が歌っている門田ゆたかの原詩は「円い背せい中」となっていた可能性すらある。

シャンテ・スタンダードはミミー宮島の歌とほぼ同一であることから推せば、門田ゆたか作詩が元歌となったことは間違いない。するとシャンテ・スタンダードに載せた譜面の「マルイセイノ」は「マルイセーノ」と読まれるべきであろう。